

平成30年度

久留米市文化財収蔵資料審議会



- ◆ 日時 平成30年12月14日(金) 14時00分～
- ◆ 会場 えーるピア久留米 207学習室

市民文化部文化財保護課

次 第

	ページ
1 開会のことば	
2 部長挨拶	
3 議題審議	
(1) 文化財収蔵資料の購入について	1
(2) 平成 31 年度以降の資料購入について	2
4 報告	
(1) 平成 29・30 年度資料の収集について	8
(2) 平成 29・30 年度資料の補修について	10
(3) 平成 31 年度以降の資料補修について	14
5 その他	
(1) 資料の活用状況について	16
6 閉会のことば	

3. 議題審議

(1) 文化財収蔵資料の購入について（諮問）

30文財第1206号
平成30年12月14日

久留米市文化財収蔵資料審議会
会長 大津 忠彦 様

久留米市教育委員会
教育長 大津 秀 明
(市民文化部文化財保護課)

文化財収蔵資料の購入について（諮問）

このことについて、下記の事項について久留米市文化財収蔵資料取扱要綱第3条の規定により諮問します。

記

1. 平成31年度以降の資料購入について

購入予定資料（候補）

- ① 今井書店古書目録（平成30年6月）第18号より
1. 田中忠政書状 1幅
 2. 久留米藩参政不破美作書状 15通
 3. 筑後国三潯郡坂井村文書 200点余
 4. 竹野郡田主丸蒙商手津屋正助宛売仕切覚 7点
 5. 久留米藩分限帳 1冊
 6. 真木保臣書幅 1幅
 7. 久留米商工会議所写真帖 1冊
 8. 有馬頼元知行宛行状 1通
- ② 筑前書店：情報提供リスト（平成29年5月）
1. (仮) 筑後・久留米城絵図 1舗
 2. (久留米緋商) 国武喜次郎引札 1枚
 3. 坂本繁二郎書簡 2通（一括）
 4. 筑後国一円富豪家一覧表 1点
 5. 鎮西本山筑後国善導寺略縁起 4丁
 6. 三教祖論異表傳 1点
 7. 加藤田千秋（大介）短冊 8枚（一括）
 8. 高良山十景謡歌 3丁
 9. 筑後城島酒蔵百景（一） 1点
 10. 筑後版・曲芸（コマ打・西洋品玉・軽業） 1枚

(2) 平成 31 年度以降の資料購入について

【資料の収集方針】

資料の収集は、従来の博物館計画に沿いながら、久留米の歴史と文化に関わる歴史・美術・民俗資料を対象に、寄贈、寄託、購入、移管、採集によって行う。ただし、これまでの収集状況を勘案し、以下の点を重点的な目標とする。

1. 久留米藩の歴史的関連地域に関わる資料
2. 近現代における久留米地域の産業に関わる資料
3. 体験型展示や教材に供するための資料
4. 収蔵資料に類似例のない資料

【候補資料】

① 今井書店古書目録（平成 30 年 6 月）第 18 号より

1. 田中忠政書状 1 幅
2. 久留米藩参政不破美作書状 15 通
3. 筑後国三潯郡坂井村文書 200 点余
4. 竹野郡田主丸豪商手津屋正助宛売仕切覚 7 点
5. 久留米藩分限帳 1 冊
6. 真木保臣書幅 1 幅
7. 久留米商工会議所写真帖 1 冊
8. 有馬頼元知行宛行状 1 通



21 田中忠政書状

政は慶長十四年に藩主となり、元和六年三十六歳の若さで死去。嗣子が無く改易となり、僅か十一年の治世であった。忠政の書状出ること非常に稀。紙面に傷み有。

筑後国柳河藩二代藩主、田中忠政の書状。忠政は慶長十四年に藩主となり、元和六年三十六歳の若さで死去。嗣子が無く改易となり、僅か十一年の治世であった。忠政の書状出ること非常に稀。紙面に傷み有。

切封 僧正様人々御中 田中筑後 忠政

霜月十六日 忠政 (花押)

候間不能一二候 恐惶謹言
猶半田次右衛門可申上
御小袖ニ致進覽候、誠書音之給迄候、
御見廻如此候、仍此式候得共
外之至候、指越無御座候へ共為
其其以後者致何角不得尊意無音心

僧正宛 十一月十六日付
三十三×四十二糎

二十一、田中忠政書状
一幅 三八〇、〇〇〇円

1. 田中忠政書状 1 幅

二十四、久留米藩参政不破美作書状

十五通

四八〇、〇〇〇円



24 久留米藩参政不破美作書状

久留米藩参政・不破美作が、国老有馬織部（元長）に宛てた書状十一通、国老有馬監物（昌長）に宛てた書状三通と、有馬織部より不破美作宛のもの一通の十五通。書簡は慶応三年十二月から四年正月二十一日までのもので、美作が暗殺されたのが正月二十六日であるため、暗殺直前の書簡で極めて貴重なものと言える。鍋島閑叟（直正）が上京の際に、閑叟公から来た直書の内容を評議した事、鳥羽伏見の戦いの情報が届いた事、徒士大砲隊上京、雄飛丸より人数差越義、四日市出張に付足軽（エンヒール）統渡の事など、逼迫する幕末の国内情勢を窺わせる内容の書状。一部摘出すると

「肥前守様御上京二付閑叟様今御直書被進候」
 「肥前守様来ル七日御駕之由候而閑叟様今御直書被進候義二候。御書簡昏送以被仰候義別紙之通候而如何可有二御座成哉と申会仕候。御覽考可被下候。尤各御書中二もみての通監物殿へ御相談申候様との御事二御座候。」
 「去三日伏見變動之義二而鶴田殿分別紙一件御手前様方為御一覽進達仕候。尤三松寛右衛門方之添状も相添置候。右一条二付而八筑前へ為問合今井彦四郎被差越候。」

2. 久留米藩参政不破美作書状 15通

三十六、筑後国三潯郡坂井村文書

二〇〇余点

五〇〇、〇〇〇円



36 大坂井村絵図（部分）



36 小坂井村絵図（部分）



36 筑後国三潯郡坂井村文書

元和六年から久留米藩領であった、三潯郡大坂井村・小坂井村・田口村に関する、元禄から明治期に亘る文書と古地図。主なものは、大坂井村絵図（文政十年 七七×二六五種）、小坂井村絵図（四八×一九四種）、三潯郡大坂井村柳川領蒲池村御境堀井手録田蒲池大庄屋大瀬新平方工差出申控図（七八×二二八種）、大坂井村絵図（四〇×一〇三種）、新溝下掘割絵図控（二〇七×三九種）、萩島村掘割図（四〇×五三種）、小坂井村見図帳下案（明治五年）、大坂井村見図帳控（明治五年）、三潯郡田口村畝高水帳（元禄十年）、宗門寛帳（寛政十二年）、吟味御目付中勤方・盗賊改方役中勤方（文政二年）、大坂井村増入帳（寛政十三年）、大坂井村減入帳（寛政十三年）、柳川様御鷹野之節品々御違申上書控（嘉永七年）、御物成引合目録控（文政十年）、上木佐木組本地開夏御物成銀高帳（天保二、四年）、年々東田口村増減帳（享和四年）、三潯郡大坂井村開田方位付春免御物成帳（享保十七年）、大坂井村御用寛帳（天保十一年）等。

3. 筑後国三潯郡坂井村文書 200点余



42 豊前国上毛郡尻高村薪札

元禄十五年三月 二十三×十六種 保存良
友枝手永大庄屋・友枝左兵衛と、有山左衛門・岡本左次右衛門・北島藤九郎の連名で出された薪札。札には
二 式拾三匁九分三厘 馬札拾五枚九分五厘 但四つ高百石二三枚宛一枚二付一匁五分定・・・運上銀合四拾七匁六分六厘」とある。尻高村は小倉藩領で友枝手永に属し、現在は上毛町に属す。本木札は元禄年間の尻高村における、運上銀の一端を知ることの出来る貴重な史料である。



41 豪商手津屋正助宛売仕切覚

備中玉島・讃岐屋、平野野堂町古惣等への、繰綿や筑後蔵米の代銀受払を記した仕切状。文化八年のものが三枚、文化二年か十四年のものが一。仕切状の宛名は手津屋正助と宝正丸定次郎か宝寿丸伊三郎。
手津屋（林田家）は、久留米藩領竹野郡田主丸（現在の福岡県浮羽郡田主丸町）に本店を構え、寛政十年に新造した廻船で年貢米や薬種などの大坂廻送を藩から請負い、文化六年からは領内の年貢米の徴収・大坂での藩米切手の買い支えに尽力するなど、久留米藩随一の豪商であった。

四十二、豊前国上毛郡尻高村薪札

一枚 一〇〇、〇〇〇円

七点 七〇、〇〇〇円

四十二、竹野郡田主丸豪商手津屋正助宛売仕切覚

4. 竹野郡田主丸豪商手津屋正助宛売仕切覚 7点



50 久留米藩分限帳

五十、久留米藩分限帳

一冊 三〇、〇〇〇円

文化頃写 九×十九種 墨付十九枚 保存良
久留米藩士三百五十五人の名前を載せる。収録者の名前から、文化頃の分限帳と思われる。

5. 久留米藩分限帳 1冊

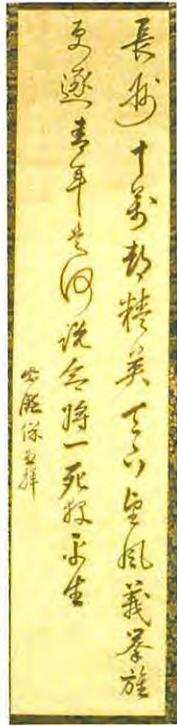
七十二、真木保臣書幅 一幅 二五〇、〇〇〇円

紙面二二二×二十七種 表具少傷み

〔長州十萬都精英天下望風義拳旌更遂青年は何説欲將一死報平生

紫灘保臣拜〕

筑後国久留米水天宮祠官で尊皇攘夷派の活動家、真木和泉守保臣の書幅。真木保臣は、会沢正志齋の門下として水戸学を学び、天保学と呼ばれる学派を立てた。元治元年七月十九日に、長州藩の益田親施・国司親相・久坂玄瑞ら同志と共に禁門の変（蛤御門の変）に主戦派として参加し、敗れた後敗走し天王山で自害した。



6. 真木保臣書幅 1幅

二三〇 有馬頼元知行宛行状 寛文十二年十二月二十八日付 二五、〇〇〇

久留米藩四代藩主・有馬頼元が、新庄孫之進宛 三六×四九標 程度並
と御井郡枝光村から百二十石を与えられている。 三藩郡上木佐木村

一五八、久留米商工会議所写真真帖

一冊 二五、〇〇〇円

小倉商工会議所編刊 昭和七年刊 新書版 少汚



158 久留米商工会議所写真真帖

7. 久留米商工会議所写真真帖 1冊

8. 有馬頼元知行宛行状 1通

② 筑前書店 (情報提供リスト)

2017/5/3

管理番号	書名	出版社	著者	詳細	発行年	価格
11703	(仮) 筑後・久留米城 絵図 一舗		田中信行写	彩色・約40×52cm。(写真は合成)	安永5	¥18,000
11392	(久留米耕商) 国武喜 次郎引札		国武喜次郎刊	石版墨刷38.8×52.5cm。裏一少補修。「久留米耕の大王」と称された国武商店の初荷真景図入	明治期	¥15,800
12755	坂本繁二郎書簡 2通 一括		坂本繁二郎	久留米市某氏宛 各封筒付 毛筆 8年8月4日と8年9月15日 保存良好		¥98,000
7149	筑後国一円富豪家一覧 表	福岡県名誉発表 会	竹内則三郎編	B6、85P。表紙一裏打。背一補修 済。	明治31	¥7,800
5357	鎮西本山筑後国善導寺 略縁起	終南山善導寺		半紙本 4丁 表紙少シミ	天明2刊	¥19,800
5869	三教祖論異表傳	南筑米府・紫琳 台蔵版 京都・ 山口墨蔵刻	久留米藩・岩色 石庭撰	半紙本 原裝 原題簽。僅虫あれど 手擦れのない美本。蔵印。	文化10 刊	¥55,000
10208	筑後大川町・木下富太 郎(陶器商)引札	久留米・野田久 兵衛製		26.4×37.7cm。保存良。	大正頃	¥6,800
10205	筑後福島土橋・青柳常 吉商店(呉服商)引札			彩色石版37.5×51.4cm。保存良。	明治41	¥8,000
10325	加藤田千秋(大介)短 冊 八枚一括		加藤田千秋一筑 後久留米藩士 和歌は中村水城 門。			¥34,000
4769	船小屋の琴	筑後下妻・近本 甲五郎	筑後下妻・近本 甲五郎	活版33丁 蔵印。鉱泉及近傍名所案 内。	明治28 刊	¥19,800
5936	高良山十景謡歌	大和伊七(御井 郡)	中村水城(筑後 御井郡)	3丁	明治24 刊	¥6,800
14465	筑後城島酒蔵百景 (一) 一木軍盛木版 画集 木版画32枚入 限定100		一木軍盛	豪華布装 帙付 本のサイズ45× 33.5cm	昭和51	¥28,000
8406	筑後版・曲芸(コマ 打・西洋品玉・軽業) 刷物	三潞郡・高田利 三郎板	佐々木新造・興 業	一枚。木版墨摺49.5×65.5cm。折目 あれど保存良。シミ抜きして裏打ち 済。	明治期 刊	¥98,000

【参考】『第十九号 京都古書籍・古書画資料目録』

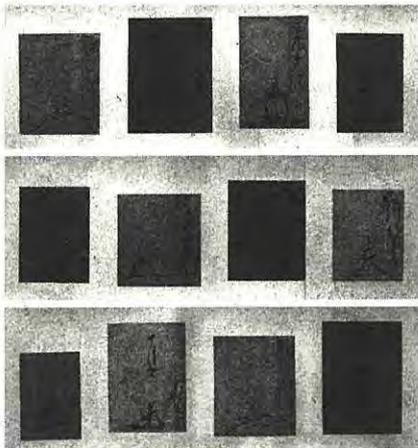
(京都府古書籍商業協同組合 抽選日：平成30年6月12日)



1308) 坂本繁二郎 七月二十七日付倉田厚宛手紙
紙本 箱入 19×50 133.5×57.5cm 38,000円



1307) 坂本繁二郎
三月五日付近見繁幸宛手紙 紙本 箱入
1310) 18.5×39.5 109.5×44cm 封筒付
本紙少シミ 38,000円



1858) 九州地方大名 書状断簡集 巻物
158×20 190,000円
細川忠利(肥後熊本藩初代藩主)、有馬信堅
(有馬豊氏の子)、有馬忠頼(筑後久留米藩2
代藩主)、有馬豊長(旗本、有馬則頼の4男)、
有馬直純(日向延岡藩主)、黒田高政(筑前東
蓮寺藩初代藩主)、田中忠政(筑後柳川藩2代
藩主)、鍋島元茂(肥前小城藩初代藩主)、宗
義成(対馬府中藩2代藩主)

4. 報 告

(1) 平成 29・30 年度資料の収集について

【平成 29 年度】

受入番号	受入件名	収蔵 区分	数 量	資料年代	備 考
A2017-001	仮面の忍者赤影関係資料	寄贈	10	昭和戦後～平成時代	昭和のくらし
A2017-002	カメラ	採集	3	昭和～平成時代	産業資料
A2017-003	厨家資料 (美術工芸)	寄贈	16	中世～近代	刀剣
A2017-004	青木照夫家資料	寄贈	19	昭和戦前	戦争資料
A2017-005	内田和幸家資料	寄贈	21	昭和戦前	戦争資料
A2017-006	柿原家資料	寄贈	7	明治から昭和戦前	生業、戦争資料
A2017-007	戦時国債およびはがき	寄贈	6	昭和戦前	戦争資料
A2017-008	末次家資料	寄贈	21	昭和戦前から戦後	近代私文書
A2017-009	久留米市長公印	採集	1	昭和戦前	歴史資料
A2017-010	旧三瀧町旗	採集	2	平成	歴史資料
A2017-011	城島町役場資料	採集	14	平成	歴史資料
A2017-012	松木家資料	寄贈	16	江戸	漆器、陶磁器、墨跡等
A2017-013	銘酒清波醸造元江頭本店鳥瞰 図	購入	1	明治	絵画
A2017-014	青木照夫家資料 (第2次)	寄贈	1	昭和戦前	戦争資料
A2017-015	防衛食容器	寄贈	1	昭和戦前	戦争資料
A2017-016	文字書き人形	購入	1	幕末	歴史資料
A2017-017	蚊帳	寄贈	1	昭和戦前	昭和のくらし
A2017-018	坂本家資料 (第8次)	寄贈	97	明治	墨跡等
A2017-019	鋤	寄贈	1	現代	民俗資料
A2017-020	吉岡家資料	寄贈	8	昭和戦後	昭和のくらし
B2017-001	坂本家資料 (第2次)	寄託	32	江戸から明治	美術工芸

※003 までは昨年度報告済み

【平成30年度】（10月31日現在）

受入番号	受入件名	収蔵区分	数量	資料年代	備考
A2018-001	昭和六年乃至九年事変従軍記章 および軍隊手帳	採集	2	昭和戦前	戦争資料
A2018-002	竹村家資料（第5次）	寄贈	9	昭和戦前	戦争資料
A2018-003	軍用手票（ペソ並び円）および 法幣	採集	34	昭和戦前	戦争資料
A2018-004	山崎晴規家資料	寄贈	2	昭和戦前	歴史資料
A2018-005	久留米観光地図等	採集	20	現代	歴史資料
A2018-006	従軍記念杯	採集	1	昭和戦前	戦争資料
A2018-007	江崎家資料（第2次）	寄贈	41	明治から昭和戦前	近代文書資料
A2018-008	上野健三郎家資料（第4次）	寄贈	28	大正から昭和戦前	戦争資料
A2018-009	厨家資料（伝来古文書）	寄贈	1982	中世から近代	古文書資料
A2018-010	厨家資料（近代資料）	寄贈	2597	明治から昭和戦前	近代
A2018-011	厨家資料（美術工芸第2次）	寄贈	16	明治から昭和戦前	美術工芸
A2018-012	辻（旧姓金原）美禰子家資料	寄贈	5	昭和戦前から戦後	民俗資料
A2018-013	平川良栄関連笠原家資料	寄贈	9	幕末から明治	美術工芸
A2018-014	増岡家資料	寄贈	7	現代	産業資料
A2018-015	徳川家斉黒印状（御内書）	寄贈	1	江戸	古文書資料

※各資料群の詳細については、別紙5

(2) 平成 29・30 年度資料の補修について

【平成 29 年度補修済】

1. 船曳大滋^{ふなびきたいじ}「国府ノ図」紙本墨画淡彩 一紙 37.5×51.0cm 封筒朱書「元旦試筆大滋ノ国府ノ図」

破損状況	修理方法
封筒に入れられていたためか、折れが多い。欠失箇所も数ヶ所あり、広い面積でなくなっている。シミも多い。	1. 欠失箇所を補修紙で補い、周りに保護紙（和紙）を付ける。封筒は同じ台紙（マット）に窓を開け並べて保存を行う。
	2. 中性紙の台紙、マット、表紙（和紙）を作り、間に挟むマット装とする。
伝来・由来等	船曳大滋「国府ノ図」は、江戸後期の久留米の歌人で、書画をよくした船曳大滋（ふなびきたいじ）が筑後国府を描いたもの。平成 11 年に鶴久二郎氏より購入したもの。



修理前



修理後

2. 吉山左平次像 作者不詳 紙本墨画淡彩 掛幅装 本紙 30.8×20.0cm

破損状況	修理方法
<p>全体に変色し、虫損、虫糞付着、シミ等がある。細く巻かれていたためか、横折れが多い。表具は糊離れが起り、中縁(ちゅうべり)の柱(右側)が紛失している。軸首は紙の芯で、金箔が貼られており、長期保存に向かない。</p>	<p>1. 本紙は旧肌裏紙を除去して美濃紙で肌裏打ちを行う。欠損箇所は調整した補修紙にて繕りを行う。虫糞は印刀で除去する。</p>
	<p>2. 補修箇所は絵の具等で補彩(基調色の補彩を行い線は入れない)を行う。</p>
	<p>3. 折れた箇所・将来折れそうな箇所は、折り伏せ(美濃紙を細く切ったもの)を入れて補強する。</p>
	<p>4. 表具裂は元裂を再使用する。中縁の右側の欠失の裂は似寄りの裂を使用する。</p>
	<p>5. 金箔押しの塗軸を新調し取り替える。</p>
	<p>6. 桐太巻芯添葉籠箱と包裂を新調し収納保存する。</p>
<p>伝来・由来等</p>	<p>吉山家文書「吉山左平次像」、久留米藩の有力町人であった吉山家に関する資料群の一つである。佐平次(?~1821)は吉山家三代にあたる。四代喜右衛門(?~1857)による賛あり。吉山家文書は吉山昌希氏より平成17年寄贈。</p>



修理前



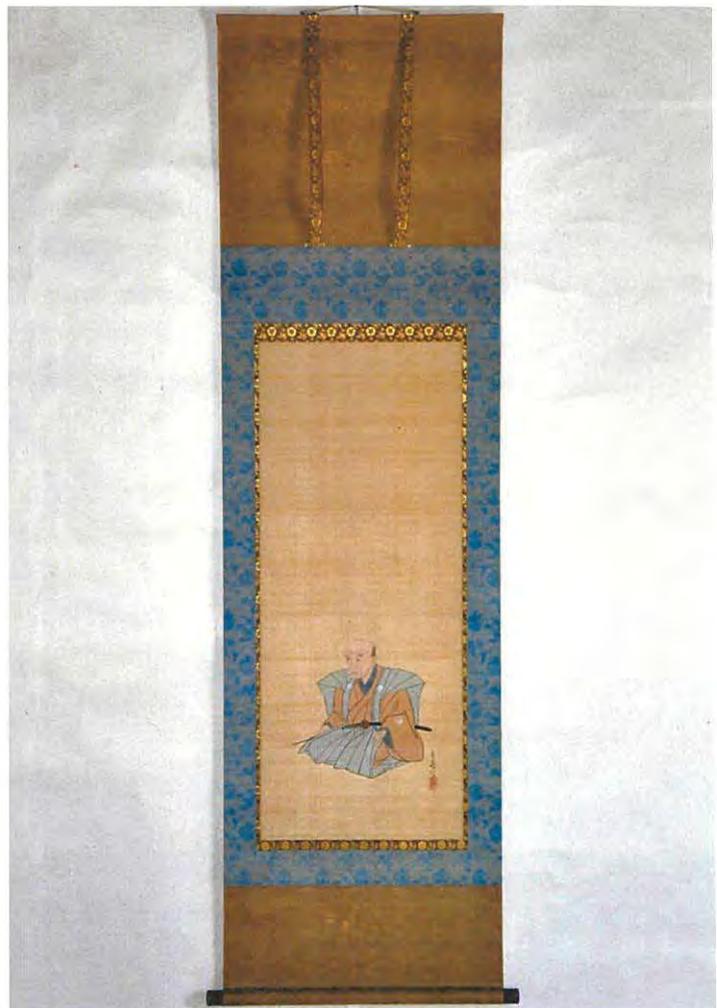
修理後

3. 吉山喜右衛門像 絹本着色 掛幅装 88.2×35.7cm

破損状況	修理方法
全体に糊浮き及び糊離れがあり、薄いシミが多数発生している。天地の裂に折れと擦損がある。	1. 本紙の旧裏打紙を除去し、美濃紙と混合糊で肌裏打を行う。
	2. 絵具の剥落止めを3~5%膠水溶液で行い乾燥させる。
	3. 似寄りの補修用絹で、本紙周りに補絹を行う。
	4. 折れた箇所・将来折れそうな箇所は、折り伏せ（美濃紙を細く切ったもの）を入れて補強する。
	5. 表具形式は同じとし、元裂を再使用する。
	6. 軸首は元のものを再使用する。
	7. 桐太巻芯添葉籠箱と包裂を新調し収納保存する。
伝来・由来等	吉山家文書「吉山喜右衛門像」も2同様に、久留米藩の有力町人であった吉山家に関する資料群の一つである。喜右衛門（?~1857）は吉山家四代である。



修理前

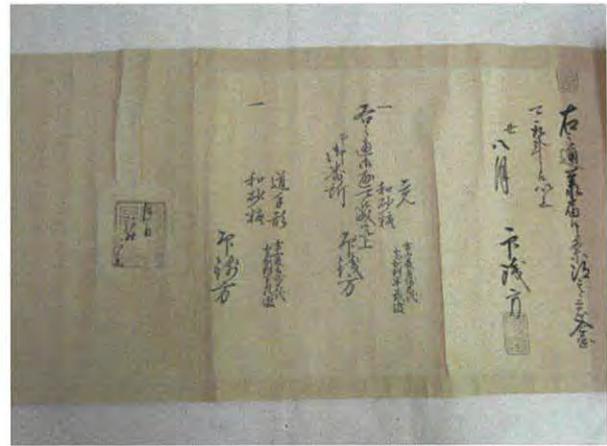
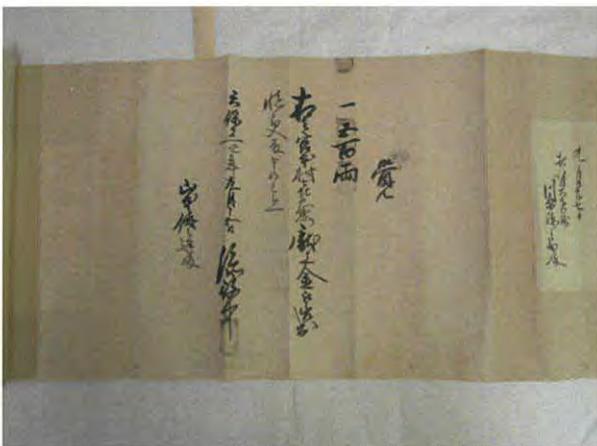


修理後

【平成 30 年度補修中】

1. 覚「献上金預り置」他 11 点 紙本墨書 卷子装

破損状況	修理方法
本紙に汚れがある。 折れ、糊離れあり。 表紙、見返しの折れ、 虫損がある。	1. 巻物の解装を行い、全 12 紙の内、11 紙はマット装とする。最後の長い本紙 1 紙は簡易卷子装とする。
	2. マット装用本誌は、旧裏打紙の除去を行い、周りに和紙にて保護紙を付けて裏打ちを行う。
	3. 簡易卷子装用本紙は旧裏打紙の除去を行い、周りに和紙にて保護紙を付けて裏打ちを行い、折り伏せを入れる。天地のみ僅かに残し断ち仕上げる。
	4. 中性紙の台紙、マット、表紙（和紙）を作り、此の間に挟みマット装とし収納保存を行う。
	5. 台紙寸法は、2 種類（40 cm×50 cm と 30 cm×70 cm）とする。
	6. マットの窓の大きさは本紙より少し大きく開ける。
	7. 紙箱は合計 4 箱の新調を行う。



修理前の状況